

ファサモンド

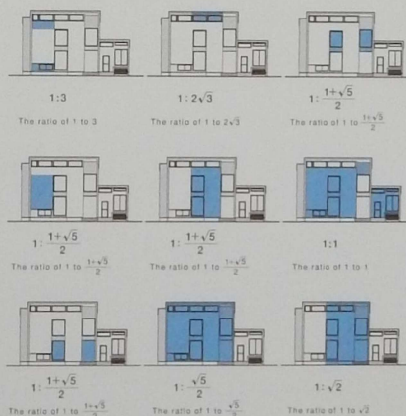


夫々に切り取られたファサードの美しさやプランニングにおける機能は様々に相乗しながら全体を形造っている。現代の世相を反映する多元的同時にファサードやプランニングに迫ってみた。又当然のことながらそれらが単独で考察されるのではなく、機能が表情としてどの様に表現されるかが追及されなければならない。即物的表現を借りればプランニングと開口部をどの様にリンクさせるかを考える事でもある。一般的にはファサードデザインの表情の二大ファクターは「開口部の形状」と「開口部の切り方」など言うことも出来る。加えて、大きな敷地で無い限りプライバシー確保から室内外を繋ぐ開口部こそ第一義的に追求されなければならない。室内機能と連動させて開口部をどの様に美しくバランスさせるか? 当住宅ではモンドリアンのグリッド・コンビジション(矩形状美)の手法を採用。ネーミングは題して「ファサモンド」とした。



Beautiful Proportion

ファサードを決める最大要因である開口部は、さまざまな矩形状の組合せから成り立っている



Variable Space Composition

必要に応じて間仕切り建具を開閉し、有機的につながった豊かな空間を作る

